

○次期総合 5 か年計画の策定について

次期総合5か年計画の策定

1 計画の位置づけ

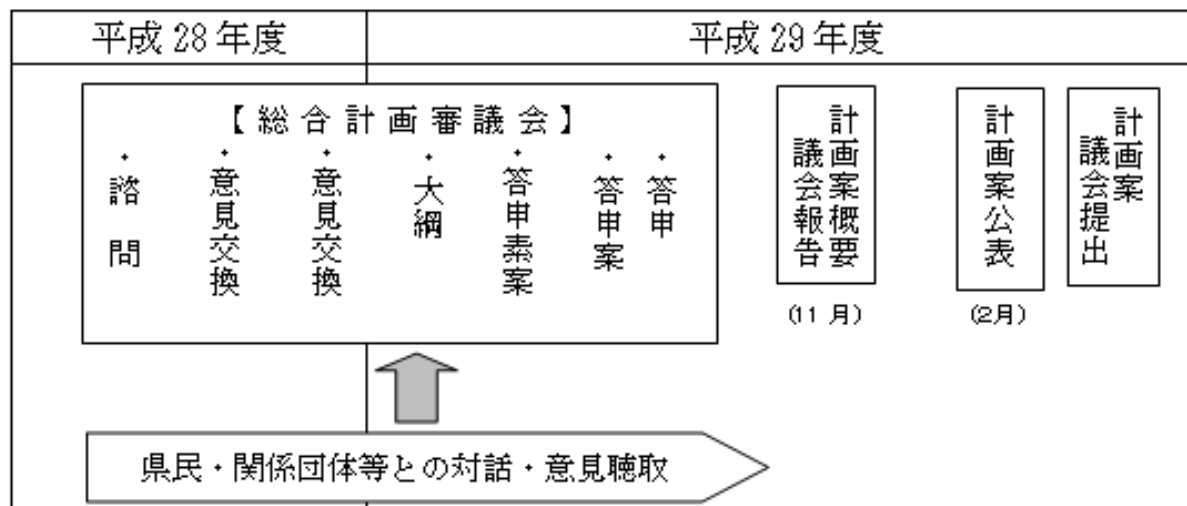
今後の県づくりの方向性を共有するため、県民とともに策定する総合計画

- ・しあわせ信州創造プラン（現行の総合5か年計画）策定後の社会・経済情勢の変化や新たな課題に的確に対応
- ・しあわせ信州創造プランの成果を反映
- ・人口定着・確かな暮らし実現総合戦略（信州創生戦略）を統合

2 計画期間

平成30年度から平成34年度までの5か年間

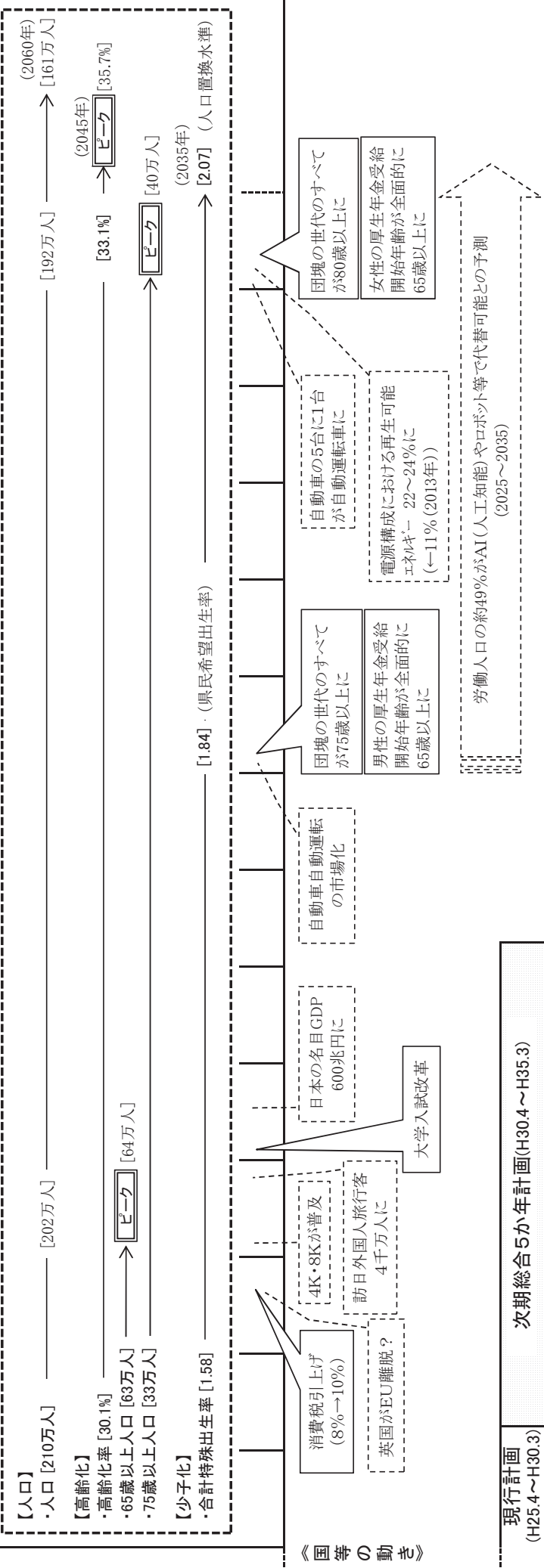
3 策定日程(予定)



これからの長野県

※暦年

2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)	2025 (H37)	2026 (H38)	2027 (H39)	2028 (H40)	2029 (H41)	2030 (H42)	
□ 国民体育大会（冬季） □ 信州デステイネーションキャンペーン □ 中部横断自動車道（佐久南～八千穂）開通	□ 全国高等学校総合文化祭 □ 長野県立大学 開校	☆ 松本空港 新規路線開設 □ 全国都市緑化フェア □ 松本ラグビーワールドカップ	☆ 東京オリンピック □ 県立武道館 開館 ・パラリンピック	□ 善光寺御開帳 □ 信濃美術館 開館	□ 諏訪大社御柱祭 □ 松本空港 国際定期路線定着	☆ 北陸新幹線（金沢～敦賀）開業 □ 河北省友好提携40周年			□ 長野県発足150周年	□ リニア中央新幹線（東京～名古屋）開業 □ 善光寺御開帳 □ 国民体育大会（本国体）				



しあわせ信州創造プラン（長野県総合5か年計画）の組立て

はじめに

〇計画策定の趣旨

私たちは、今、時代の大変な転換点に立ち、おり、今までにないような新しい社会の創造に力を使わなければならない。この計画は、長野県民と共有し、長野県民の生活向上のために、一緒に作り上げるための方向性や方策を明らかにする。

〇計画の性格

直面する課題に引き合い、将来像をめざして確かな一歩を踏み出す、県政運営の基本となる総合計画

〇計画の期間

平成25～29年度（5か年間）

第1編 現状認識

〇時代の潮流

- 1 到来した人口減少社会
 - (1) 地域社会の活力の低下
 - (2) 高齢者を支えるシステムへの不安
- 2 価値観の多様化
 - ・自然、健康、環境など長野県民の心から生み出される価値観
- 3 成熟した経済
 - (1) アジア新興国の活力の取り込み
 - (2) 新分野への進出と新商品の創出
- 4 変革が求められる社会システム
 - (1) 持続可能な財政政策の構築
 - (2) 多様な主体との共創・協働
 - (3) 自然エネルギーの利用の拡大

〇長野県のポテンシャル

- 1 大地から与えられた恵み
 - (1) 美しく豊かな自然環境
 - (2) 大都市圏への近さ・交通の結節点
- 2 先人が築いてきた「努力」の蓄積
 - (1) 全国トップレベルの健康長寿
 - (2) 教育を大切に育む風土と国民性
 - (3) 伝統・文化を受け継ぐ地域
 - (4) 企業家精神を育む士魂

3 際立つ地域の個性

第2編 長期的な視点に立った長野県の将来像

〇「未来の信州」に向けて

- ・量的拡大といった従来の延長線上だけでは新たな課題の解決が難しい時代
- ・東日本大震災の発生は、家族や社会とのつながりとともにエネルギーなど生活のあり方を見つめ直す契機に
- ・このような時代に、長野県の特長・強みを生かして、可能性が広がる「未来の信州」の創造を県民一人ひとりが目指すことで、世界に通用する新たな価値を創造していくことが可能
- ・人と人、地域と地域のつながり、支え合いを大切にし、自然や伝統と最先端の技術とを融合させて地域のあり様を刷新することにより、質が高く、持続可能な社会を創造

〇基本目標

～県民みんなが心一つにして取り組むための目標～

確かな暮らしが営まれる美しい信州

〇私たちがめざす「未来の信州」の姿

～私たちが次の世代に引き継ぎたい5つの長野県の姿～

- 1 世界に貢献する信州
- 2 「働かないライフスタイル」を実現する信州
- 3 誰にでも居場所がある信州
- 4 健康長寿な世界一の信州
- 5 一人ひとりの力を引き出す教育県信州

〇「未来の信州」の姿を支える仕組み

- ～「未来の信州」の姿を支える仕組みを県民みんなで整える～
- ・分限い習が支える共創・協働の社会
- ・信州独自の自治による自立型の強い地域
- ・交流・連携を深めるネットワーク型社会

第3編 今後5年間の政策推進の基本方針

◎ 今後5年間の政策推進の基本方針を3つ掲げ

県行政と県民の英知を結集

方針1 「貢献」と「自立」の経済構造への転換

- ① 技術集積と起業家精神を基礎とした次世代産業の創出
- ② 観光と農林業を基礎とした農山村産業クラスターの形成
- ③ 地勢と知恵を基礎とした環境・エネルギー自立地域の創出

方針2 豊かさが実感できる暮らしの実現

- 安心・満足・誇りを得られる信州ならではのライフスタイルの充実
- ① 「安心」して暮らすための健康づくりと医療の充実
- ② 「満たされた」暮らしのための雇用の活用と社会参加の促進
- ③ 景観・自然・文化に開かれた「誇り」ある暮らしの実現

方針3 「人」と「知」の基盤づくり

- 地域の課題を自ら解決できる「人」と「知」の基盤づくり
- ① 信州を元気にする「活動人口」の増加
- ② 良き人生を築き社会に貢献できる人材の育成
- ③ 県民参加と協働により地域課題を解決する県政の強化

発信

- 「信州」の価値向上と発信
- 信州の強み、信頼性、信州人の誇りなど「信州」の価値を向上させ、統一感のあるブランドとして発信
- ・県民総参加による「信州」の誇りある発信と新たな「価値」の創造

第4編 プロジェクトによる施策の推進

- ◎ 「未来の信州」に向けた先駆的な取組を
部局横断的な9つのプロジェクトとして推進
- ◎ プロジェクトに県民の「アクション」を県民の皆様に
明示し県民と一緒に進める

方針1「貢献」と「自立」の経済構造への転換

- 1 次世代産業創出プロジェクト
 - (1) 成長期待分野への雇用支援
 - (2) 戦略的企業誘致と創業促進
 - (3) 産業人材の育成・確保強化
- 2 農山村産業クラスター形成プロジェクト
 - (1) 世界水準の山岳リゾート観光地づくり
 - (2) 県民参加型観光地づくり
 - (3) 農林業の高付加価値化
- 3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト
 - (1) 省エネルギーの促進
 - (2) 自然エネルギーの普及拡大
 - (3) 水資源の保全
 - (4) 安定的な農業生産の確保

方針2「豊かさが実感できる暮らしの実現」

- 4 健康づくり・医療充実プロジェクト
 - (1) 健康づくり県民運動の展開
 - (2) 三次死因に対する診療機能の向上
 - (3) 心の健康支援策の充実
 - (4) 地域医療体制の強化
- 5 雇用・社会参加促進プロジェクト
 - (1) 女性の雇用と社会参加の促進
 - (2) 若い世代の雇用と自立の促進
 - (3) 人生・三毛作社会の仕組みづくり
 - (4) 障害者の社会参加と雇用促進
 - (5) 多岐で安心できる働き方の検討
- 6 誇りある暮らし実現プロジェクト
 - (1) 農山村の活性化支援
 - (2) 地域づくり人材の確保・育成
 - (3) 美しい景観の維持創造
 - (4) 身近な自然環境の保全創造
 - (5) 個性豊かな文化芸術の振興

方針3「人」と「知」の基盤づくりを進めるためのプロジェクト

- 7 活動人口増加プロジェクト
 - (1) 結婚しやすい環境づくり
 - (2) 子育てを支える環境づくり
 - (3) 移住・交流促進施策の積極的な展開
 - (4) 公共的活動の支援と協働の積極的推進
- 8 教育再生プロジェクト
 - (1) 学力・体力の向上と多様な学習機会の提供
 - (2) 地域に開かれた信頼される学校づくり
 - (3) 農林業体験など体験活動の推進
 - (4) 情報活用能力、英語コミュニケーション能力の向上
 - (5) 高等教育全体の振興
 - (6) 生涯にわたる学びの環境整備
- 9 信州ブランド創造プロジェクト
 - (1) 信州ブランドの普及・拡大
 - (2) 商品や物産、サービスの新たな価値の創造・発信

第6編 各地域がめざす方向とその方策

- ～地域の個性や魅力を活かした10広域圏ごとのめざす方向や方策～

1 佐久地域	2 上小地域	3 諏訪地域	4 上伊那地域	5 飯伊地域
6 木曽地域	7 松本地域	8 大北地域	9 長野地域	10 北信地域

第7編 計画を推進するための基本姿勢

- 1 行政・財政改革の推進
- (1) 県民参加と協働により地域課題を解決する県政の強化
- (2) 行政・財政改革方針に基づき質の高いサービスの提供
- 2 市町村との協働
- 3 政策評価・事業点検による有効性の確保
- 4 計画の見直し

第5編 施策の総合的展開

～県民と一緒に進める取り組み～

- 1 産業・雇用
 - (1) 信州をけん引するものづくり産業の振興
 - (2) 強みを活かした観光の振興
 - (3) 夢に挑戦する農業
 - (4) 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり
 - (5) 地域の暮らしを支える産業の振興
 - (6) 職業能力の開発と安心して働く雇用・就業環境づくり
- 2 地域づくり
 - (1) 魅力ある地域の創造と発信
 - (2) 協働、人権尊重、男女共同参画社会の実現
- 3 環境
 - (1) 低炭素で循環型の地域社会づくり
 - (2) 豊かな自然環境の保全
- 4 安全
 - (1) 地域防災力の向上
 - (2) 県民生活の安全確保
- 5 社会基盤
 - (1) 高速交通・情報通信ネットワークの充実
 - (2) 快適で暮らしやすいまちづくり
- 6 健康・福祉
 - (1) 健康で長生きできる地域づくり
 - (2) いざいざと安心して暮らせる社会づくり
- 7 教育・子育て
 - (1) 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実
 - (2) 子育て先進県の実現
 - (3) 生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり

◎ 達成目標 - 115指標

5

1-2 | 強みを活かした観光の振興

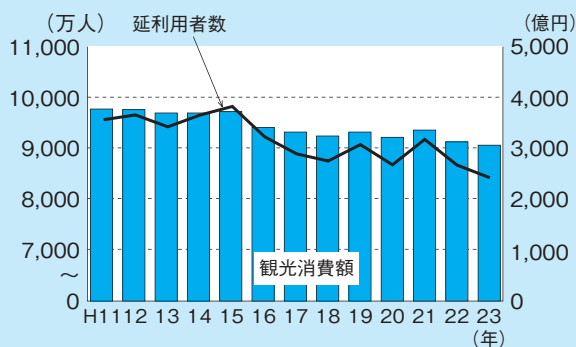
施策目標

観光旅行者の多様化するニーズに応え、豊かな自然などの資源を活かした魅力ある観光地域づくり*により交流人口の拡大をめざします。

現状と課題

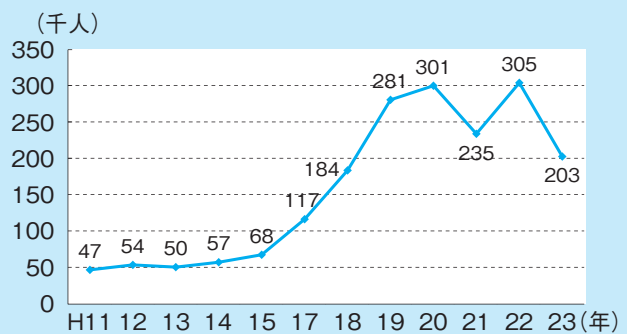
- 景気の低迷、観光地間競争の激化、観光ニーズの多様化への対応の遅れなどにより観光地利用者数や観光消費額が減少傾向にあり、長野県観光は厳しい状況に置かれています。
- 宿泊業はもとより、飲食業、小売業など幅広い分野を包含した総合産業である観光産業は本県の主要産業の一つであり、旅行消費の減少が及ぼす地域経済への影響が懸念されています。
- 県内には魅力ある自然や温泉、多様性に富んだ文化があることから、そのポテンシャル*を十分に活かして本県のブランド力を高めていく必要があります。
- 暮らしのゆとりや心の豊かさを実感できるライフスタイルへのニーズの高まりに加え、平成26年度（2014年度）末までに予定されている北陸新幹線の金沢延伸をはじめとする高速交通ネットワークの充実が今後の観光振興の可能性を広げています。

観光地利用者数及び観光消費額の推移



資料：観光企画課

外国人宿泊者数の推移



資料：観光企画課

達成目標

指標名	現状	目標 (平成29年度)	備考
観光地利用者数	8,435万人 (H23年)	9,000万人 (H29年)	県内観光地の延べ利用者数 [H24年実績見込みから5%増加を 目標に設定]

観光消費額	3,063億円 (H23年)	3,300億円 (H29年)	県内観光地内で観光旅行者が支出した宿泊費、交通費、飲食費等の総計 [H24年実績見込みから5%増加を目標に設定]
旅行者満足度	—	大変満足 20.0% 必ず再訪したい 20.0%	県内の観光地で「大変満足」「必ず再訪したい」と回答する観光旅行者の割合 [全国の著名な観光地と比較しても遜色ない数値を目標として設定]
外国人宿泊者数	20万3千人 (H23年)	50万人 (H29年)	県内の外国人延べ宿泊者数 [倍増を基本に中国をはじめとする最重点市場からの宿泊者の増加を見込み設定]

施策の基本方向

- ◇観光地域づくりの中核となる人材の育成やおもてなしの向上、地域資源を活用した商品の造成・販売への支援に加え、利便性の向上をはじめとする来訪者に優しい基盤づくりなどに取り組むことにより地域の魅力を向上させます。また、その魅力を信州ブランドとして発信することにより、選ばれる観光地づくりを推進します。
- ◇県内外との連携やターゲットを絞った情報発信などによる国内外からの誘客の促進、豊かな自然環境を活かしたコンベンションの誘致などを進めます。

施策の展開

◆選ばれる観光地づくり

- 観光地域づくりの中核となる人材や観光マーケティングに携わる人材など、本県の観光を担う人づくりを促進します。
- 観光に携わる事業者はもとより広く県民を巻き込んで、おもてなしの向上に取り組めます。
- 地域や市町村と一体となり、山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくりのための研究を進めます。
- 地域資源を活用した体験型観光などの商品の造成・販売や地域全体の情報発信などを地域が一体となって行う取組を支援します。
- 観光×農業、観光×スポーツ、観光×文化など他分野との連携を進め、新たな観光需要への対応を促進します。
- 伝統的な食文化、ワイン、ジビエ*など長野県ならではの食の魅力向上、土産物などの物産の振興に取り組み、その魅力を発信します。
- 長野県独自の信州登山案内人*制度や山岳遭難防止の取組などにより、登山者に安全で楽しい登山の機会を提供します。
- 世界水準の山岳高原観光地*づくりや観光地の廃屋の除却・利活用など、観光産業や観光地が中長期的に発展していくための方向性を検討します。
- 環境意識の高い観光旅行者獲得のためのエコロジーへの取組や自然公園*における登山道の補修・整備など観光地の美しい自然を保全するための取組を推進します。
- 観光情報のデータベース化や観光地トイレの環境の向上、広域周遊観光の視点を意識した道路整備など観光旅行者の利便性・快適性の向上のための取組を進めます。
- 長野県観光の対外的訴求力を高めるため、信州ワインバレー*など観光の魅力を信州ブランドとして磨き上げるとともに統一感のある発信を行います。

◆国内外からの誘客・交流の促進

- 県内の観光情報の発信や市場のニーズを的確に把握しターゲットを明確にした観光キャンペーンによる効果的な誘客・宣伝、観光大使による観光PRなどを推進します。
- 冬季の交流人口の拡大をめざし、ファミリーを中心に誰もが楽しめる魅力あるスノーリゾートのプロモーションを推進します。
- スポーツや体験を目的とした合宿や国内外からの学習旅行の誘致に加え、豊かな自然環境などリゾートのイメージを活かしたMICE*の誘致を促進します。
- 県内のフィルムコミッション*のネットワークを活かして、映画やドラマのロケーション撮影の誘致・支援を推進します。
- 多様化する観光旅行者のニーズや外国人旅行者に対応するため、テーマ別の観光ルートづくりなど周遊の広域化を進めます。
- 北陸新幹線の金沢延伸に向けて、北陸圏などでの長野県観光の認知度を向上させるとともに、北陸新幹線停車駅を核とした広域観光を推進します。
- 大都市圏と県内の観光地を結ぶ周遊バスを運行するビジネスモデルの構築などにより、外国人旅行者が県内を旅行しやすい環境を整えます。
- 海外のメディアや旅行業者などに対し、国・地域の特性に応じた効果的な宣伝誘客活動を展開するとともに、海外に向けた情報発信を行います。

(参考) 関連する個別計画

長野県観光振興基本計画 [2013～2017]、信州ブランド戦略、長野県国際戦略、国際青少年交流農村宣言アクションプラン、信州ワインバレー構想

長野県観光PRキャラクター
「アルクマ」

【用語解説】

- *観光地域づくり：観光による交流人口の拡大や地域経済の活性化を目的として、身近にある自然や景観、伝統や文化などの地域資源を活かしなが、住民参加のもと、地域の幅広い関係者が一体となって進める地域づくり
- *ポテンシャル：潜在的な力。本計画では、磨きをかけることにより、更なる強みを発揮することができる長野県の優れた特徴を記載している。
- *ジビエ：捕獲した野生鳥獣の肉をジビエ (jibier: 仏語) という。ジビエ料理は、フランス料理の中でも最も古典的で高級な料理に位置付けられている。
- *信州登山案内人：信州登山案内人条例に基づき、長野県知事の登録を受け、信州登山案内人の名称を用いて、県内において登山等を行う者に付き添ってその案内を行うことを業とする者
- *山岳高原観光地：雄大な山岳やさわやかな高原、美しい景観に加えて、スノーリゾートや温泉など信州を代表する強みを活かした滞在型の観光地
- *自然公園：国立公園、国定公園、県立自然公園のこと。県内には国立公園が、中部山岳、上信越高原、秩父多摩甲斐、南アルプスの4地域、国定公園が、八ヶ岳中信高原、天竜奥三河、妙義荒船佐久高原の3地域、県立自然公園が、中央アルプス、御岳、三峰川水系、塩嶺王城、聖山高原、天竜小渋水系の6地域、合計13地域ある。
- *信州ワインバレー：各地でワイン用ぶどうやワインの生産が盛んな長野県を表す呼称
- *MICE：企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称
- *フィルムコミッション：映画、テレビドラマ、CMなどのロケーション撮影の誘致や、実際の撮影をスムーズに進めるための諸手続きを行う非営利公的機関